

「市政を語る」

議長 同じく、災害のない平穏な1年であってほしいですね。円高などで低迷する景気も回復

議長 同じく、災害のない平穏な1年であってほしいですね。円高などで低迷する景気も回復

たが、地方自治法の改正により、現在は、予算を除けば、議員も議案を提案できるようになりました。議会側から「こういう政策の方が効果的ではないか」それに対して当局が「なるほど、しかし〇〇な問題が出てきます」というような、一方向でなく双方の議論になればいいですね。

私（市長）には反問権を与えられませんでした。これの濫用は避けたいが、緊張感を保つて議論する、これが本来あるべき姿でしょう。

議長 解決することができない様々な課題があります。人口減、少子化、高齢化の進展など。経済活動を活発にしていこうためには、各人、各産業が将来を見据えて、どう意識改革し、積極的に取り組むか、それができるかどうかだと思います。TPP参加の是非に関わらず、農業などにおいてはコスト削減と並行して収益性の高い経営を確立しなければなりません。新たな担い手を育てなければなりません。

中小企業においては各々がさらに技術力を高め、独自の製品開発や、主要企業TDKの生産活動に貢献できる技術を持つことも、地域に必要なことです。

観光面では、行政や観光協会など、関係団体の取り組みだけでなく、市全体で「おもてなしの心」を醸成することが大事です。地域経済に波及させるためにも、市民全体の意識を改革し、優れた資源を活用しながら、交流人口を拡大させる必要があります。

その他にも課題はあります。口で言うような生やさしいものではないかもしれませんが、こうした課題に前向きに取り組むことが、未来に輝き市民が誇れる「にかほ市」につながると思います。「にかほ市」以上に、市民、企業の英知を結集し、連携を強化して、施策を講じたいと思います。

議長 にかほ市の基本理念を実現するため、豊富な自然、雄大な鳥海山や日本の豊かな恵み、田園風景や歴史、伝統文化を十分活用して、市民が豊かさを実感できるような、市民・行政・地域が「絆」を大切にして、住み続けたいと思うまち。外の人からは、訪れたいと思われたいまち。そして産業・雇用に、力強さがあるまち。これを目指したいです。

現実的な課題としては、若年者層の雇用確保、TPPの問題、農業所得の減少など、不安要素はたくさんあります。将来にわたって、農林漁業、商工業、観光など、活気がみなぎるような地域であってほしいです。

「農工一体」はこの地域が目指してきた言葉です。まさにこれが、この地域を豊かにし発展してきた「農工」はすべての産業を表すものとしてもいい。この、「農工一体」を、改めて、にかほ市の理想像としたいですね。



佐藤文昭市長

佐々木 それではお2人に新しい年、平成24年の抱負をお聞かせします。

市長 まずは、迎えた新しい年が、災害がない、穏やかな1年でありますように。そして、市民の皆さんにとって、希望に満ちた1年となりますように。そう心からお祈りします。

市政に対しては、引き続き市民の皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

欧米諸国の景気後退などで歴史的な円高が進み、輸出産業、とりわけ製造業には厳しい状況が続いています。この新しい年は、為替が安定して、企業にも確かである兆しが見える1年となりますように期待しています。

議長 同じく、災害のない平穏な1年であってほしいですね。円高などで低迷する景気も回復

たが、地方自治法の改正により、現在は、予算を除けば、議員も議案を提案できるようになりました。議会側から「こういう政策の方が効果的ではないか」それに対して当局が「なるほど、しかし〇〇な問題が出てきます」というような、一方向でなく双方の議論になればいいですね。

私（市長）には反問権を与えられませんでした。これの濫用は避けたいが、緊張感を保つて議論する、これが本来あるべき姿でしょう。

議長 解決することができない様々な課題があります。人口減、少子化、高齢化の進展など。経済活動を活発にしていこうためには、各人、各産業が将来を見据えて、どう意識改革し、積極的に取り組むか、それができるかどうかだと思います。TPP参加の是非に関わらず、農業などにおいてはコスト削減と並行して収益性の高い経営を確立しなければなりません。新たな担い手を育てなければなりません。

中小企業においては各々がさらに技術力を高め、独自の製品開発や、主要企業TDKの生産活動に貢献できる技術を持つことも、地域に必要なことです。

観光面では、行政や観光協会など、関係団体の取り組みだけでなく、市全体で「おもてなしの心」を醸成することが大事です。地域経済に波及させるためにも、市民全体の意識を改革し、優れた資源を活用しながら、交流人口を拡大させる必要があります。

その他にも課題はあります。口で言うような生やさしいものではないかもしれませんが、こうした課題に前向きに取り組むことが、未来に輝き市民が誇れる「にかほ市」につながると思います。「にかほ市」以上に、市民、企業の英知を結集し、連携を強化して、施策を講じたいと思います。

議長 にかほ市の基本理念を実現するため、豊富な自然、雄大な鳥海山や日本の豊かな恵み、田園風景や歴史、伝統文化を十分活用して、市民が豊かさを実感できるような、市民・行政・地域が「絆」を大切にして、住み続けたいと思うまち。外の人からは、訪れたいと思われたいまち。そして産業・雇用に、力強さがあるまち。これを目指したいです。

現実的な課題としては、若年者層の雇用確保、TPPの問題、農業所得の減少など、不安要素はたくさんあります。将来にわたって、農林漁業、商工業、観光など、活気がみなぎるような地域であってほしいです。

「農工一体」はこの地域が目指してきた言葉です。まさにこれが、この地域を豊かにし発展してきた「農工」はすべての産業を表すものとしてもいい。この、「農工一体」を、改めて、にかほ市の理想像としたいですね。

「市政を語る」



横山 忠長市長

佐々木 議会基本条例に関して市長の感想をお聞かせください。

市長 今後、さらに地方分権は進み、各自治体では自己決定、自己責任の中での「まちづくり」が強く求められてきます。

行政当局と市議会、互いに切磋琢磨して、より良い方向へ導くことができればいいと思います。議会側の提案には大きな期待をしています。市民の幸せのために、進む方向が同じであれば、よく言われるように、車の両輪のごとく推進力が大きくなります。条例制定については評価しています。

議長 政策の立案を競うことで、この地域の活性化に導くために、議員間で自由闊達な討議を重ねる。そして、市民に信頼される議会運営に努めていきます。

市長 これまでは首長だけが議会に議案を提案することができま

たが、地方自治法の改正により、現在は、予算を除けば、議員も議案を提案できるようになりました。議会側から「こういう政策の方が効果的ではないか」それに対して当局が「なるほど、しかし〇〇な問題が出てきます」というような、一方向でなく双方の議論になればいいですね。

私（市長）には反問権を与えられませんでした。これの濫用は避けたいが、緊張感を保つて議論する、これが本来あるべき姿でしょう。

議長 解決することができない様々な課題があります。人口減、少子化、高齢化の進展など。経済活動を活発にしていこうためには、各人、各産業が将来を見据えて、どう意識改革し、積極的に取り組むか、それができるかどうかだと思います。TPP参加の是非に関わらず、農業などにおいてはコスト削減と並行して収益性の高い経営を確立しなければなりません。新たな担い手を育てなければなりません。

中小企業においては各々がさらに技術力を高め、独自の製品開発や、主要企業TDKの生産活動に貢献できる技術を持つことも、地域に必要なことです。

観光面では、行政や観光協会など、関係団体の取り組みだけでなく、市全体で「おもてなしの心」を醸成することが大事です。地域経済に波及させるためにも、市民全体の意識を改革し、優れた資源を活用しながら、交流人口を拡大させる必要があります。

その他にも課題はあります。口で言うような生やさしいものではないかもしれませんが、こうした課題に前向きに取り組むことが、未来に輝き市民が誇れる「にかほ市」につながると思います。「にかほ市」以上に、市民、企業の英知を結集し、連携を強化して、施策を講じたいと思います。

議長 にかほ市の基本理念を実現するため、豊富な自然、雄大な鳥海山や日本の豊かな恵み、田園風景や歴史、伝統文化を十分活用して、市民が豊かさを実感できるような、市民・行政・地域が「絆」を大切にして、住み続けたいと思うまち。外の人からは、訪れたいと思われたいまち。そして産業・雇用に、力強さがあるまち。これを目指したいです。

現実的な課題としては、若年者層の雇用確保、TPPの問題、農業所得の減少など、不安要素はたくさんあります。将来にわたって、農林漁業、商工業、観光など、活気がみなぎるような地域であってほしいです。

「農工一体」はこの地域が目指してきた言葉です。まさにこれが、この地域を豊かにし発展してきた「農工」はすべての産業を表すものとしてもいい。この、「農工一体」を、改めて、にかほ市の理想像としたいですね。

